

Committee Panel Discussion

Thu. Jul 9, 2026 3:00 PM - 4:00 PM JST | Thu. Jul 9, 2026 6:00 AM - 7:00 AM UTC | Room3 (Conference Hall B2)

[CPD1] 委員会企画パネルディスカッション 1 (I-CPD1)

なぜ、学校心臓検診のデジタル化が進まないか？：各地の事例と母子保健DXの先行事例から学ぶ

座長:三谷 義英(三重大学医学部附属病院周産母子センター)

座長:加藤 愛章(国立循環器病研究センター病院)

[I-CPD1-1] 母子保健DXの現状と課題：電子版母子健康手帳、乳幼児健診のマイナ
ンバーポータル閲覧

○山縣 然太朗 (国立成育医療研究センター成育こどもシンクタンク)

Keywords：母子保健DX、電子版母子健康手帳、乳幼児健診

わが国の情報デジタル・トランスフォーメーション（DX）の整備が急速に進んでいる。保健医療領域においても、マイナ保険証の普及や、住民、医療機関、自治体の間で迅速に共有・活用するための情報連携基盤（PMH）を用いた予防接種のデジタル化が進む中、こども家庭庁は2024年に電子版母子健康手帳ガイドライン策定に向けた検討会を設置。取り扱うべき情報や、データの記録・閲覧の取扱方針等について検討し、2024年3月に取りまとめが公表され、2026年3月にガイドラインが発出された。他方で、PHMによる乳幼児健診情報、予防接種情報が臨床現場等で活用できる仕組みづくりに向け、母子保健DXの実証事業が自治体で実施されている。本講演では、電子母子健康手帳ガイドラインおよび母子保健DXの現状を概説する。